

現場作業の効率化を実現する高いパフォーマンス



静かで広視界 快適なキャビン

ストレスのない作業と安全を両立する、曇り止め熱線入り1枚式床ガラスを採用した広視界キャビン。防音性も高く、回転式チルトシートで乗り降りも容易です。



剛性の高いフレーム

最大45トンにもなる海上コンテナの安全な荷役作業のために頑強なガータ・コラム・シルビーム構造を採用、各荷役に対して十分な強度、剛性を有し、たわみも考慮した頑強設計です。

フレーム最大たわみ  
約10mm(負荷時)

抜群の振り止め性能

振り止めロープの最適ローピング、および最適ロープ張力などの採用によって、スプレッドとコンテナボックスの振れをすばやく止めます。これら的高性能振止防止装置により、走行および横行の起動、停止時、RTG本体のゆれが少ないため、コンテナの位置決めが容易です。

標準サイクルタイム  
53 sec

OPTIONS

オプション

●走行モニタリング装置



●リーファコンテナ電力装置



●自動直進装置



- 対クレーン衝突防止装置
- 対障害物衝突防止装置
- コンテナ片吊防止装置
- 横行制限装置
- 姿勢制御装置

- コンテナ位置検知装置
- セルフスタンディング装置
- シャーン吊上げ監視モニター
- ケーブルベア
- クレーン運転アシストシステム
- 電動スプレッド

寒冷地オプション

- 走行4輪駆動
- 横行4輪駆動
- 温風ヒーター（運転席足下）
- スペースヒーター
- 熱線入りガラス
- エンジンエアヒーター

SPECIFICATIONS

|                | 8輪タイプ(2輪駆動)        | 16輪タイプ(4輪駆動)  |
|----------------|--------------------|---------------|
| 積付段数           | 4 / 5              |               |
| 定格荷重           | 40.6ton            |               |
| 巻上下速度          | 23m/min / 54m/min  |               |
| 横行速度 / 走行速度    | 70m/min / 135m/min |               |
| 発電機容量 / エンジン出力 | 180kVA / 169.5kW   |               |
| 燃料タンク容量        | 930ℓ               |               |
| 尿素水容量          | 56ℓ                |               |
| タイヤサイズ         | 18.00-25-36PR      | 16.00-25-28PR |
| 接地圧            | 0.93MPa            | 0.79MPa       |

- 製品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。
- このカタログの内容は2023年12月現在のものです。
- 京都工場並びに滋賀工場、安土工場はISO9001およびISO14001の認証を取得しています。

Logisnext

三菱ロジスネクスト株式会社

〒617-8585 京都府長岡京市東神足2-1-1 TEL.075-956-8688

www.logisnext.com

販売店

3000/2312(S)40X162-1

TCM 特殊搬送車両

RTG

Rubber  
Tired  
Gantry Crane



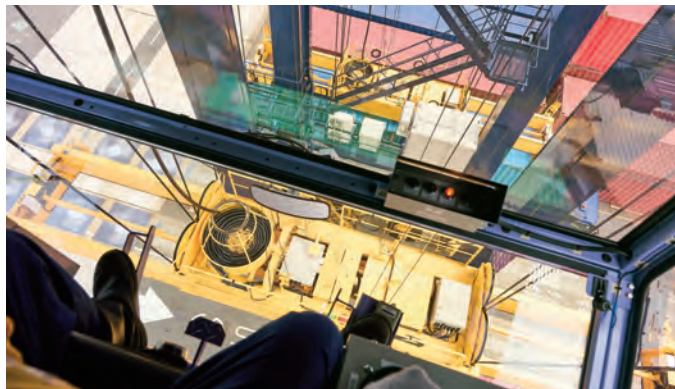
タイヤ式トランスファークレーン F-ZERO タイプ



# RTG

Rubber  
Tired  
Gantry Crane

タイヤ式トランスファークレーン F-ZERO タイプ



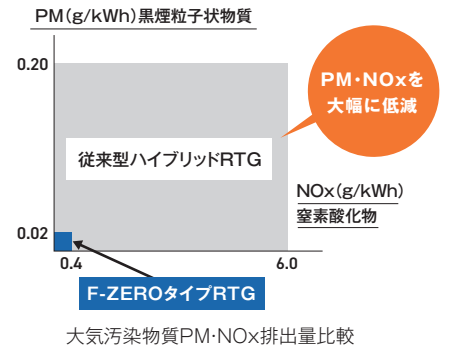
## エコロジーへのあくなき挑戦 カーボンニュートラル社会を描く次世代モデル F-ZEROタイプ RTG

従来型で定評のあるパフォーマンスを維持しつつ、さらなる環境性能を実現。  
さらに、将来的な水素供給インフラの整備に合わせ、燃料電池ユニットへの換装に対応。  
カーボンニュートラルポート(CNP)実現に貢献する、次世代のトランスファークレーンの誕生です。

### エコロジーと燃費低減を両立 新型エンジン搭載

ディーゼル発電機の小型化により、従来のハイブリッド型RTGで使用されている蓄電池の容量はそのままに、エンジンの排気量・出力を抑え、最適かつ効率的な燃焼制御を実現。これにより、環境省の平成26年排出ガス規制法に適用し、従来比約15%の燃費削減と、CO<sub>2</sub>、NOx(窒素酸化物)、PM(黒煙粒子状物質)の排出量削減を達成しています。

平成26年排出ガス規制対応  
エンジン・発電機ユニット

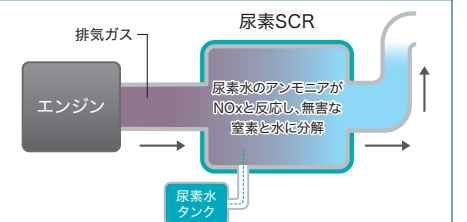


### 新排出ガス浄化システムを搭載

尿素水触媒による化学反応(還元)で排出ガスに含まれるNOxを大幅に低減する尿素SCRシステムを搭載。ハイパワーとクリーンな排出ガスを両立しました。

#### 尿素水について

燃料と同様に補給が必要になります。なお、尿素水は有毒性の極めて低い無色透明の液体で引火の可能性はありません。



### 将来的な燃料電池ユニットへの換装に対応

将来的な水素供給インフラ整備の完了に合わせて、燃料電池ユニットの換装が可能な構造になっています。  
※上記写真は現行のエンジン・発電機ユニットです。

### 回生エネルギーを再利用 CO<sub>2</sub>低減に寄与

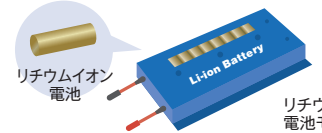
#### ハイブリッドシステム

巻下時に発生した回生エネルギーをリチウムイオン電池に蓄積し、巻上時に蓄積された電力を再利用しCO<sub>2</sub>低減化を図ります。

#### リチウムイオン電池

高効率かつ燃費削減にも寄与する  
リチウムイオン電池を採用

- 軽量・小型・高エネルギー密度
- 省スペース
- 自己放電が少ない(数%程度/月)



巻下時に  
蓄電!



蓄電された  
エネルギーを  
使用!

CNP

### カーボンニュートラルポート(CNP)

国土交通省および全国自治体が検討を進めている、脱炭素化に配慮した港湾機能の高度化などを通じて脱炭素社会の実現に貢献することを目指す政策。

動画で  
CHECK!

